

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

日 時 平成 24 年 10 月 23 日
対 象 千葉市立都賀中学校
3 年 A 組 36 名
授業者 豊川 ますみ
場 所 被 服 室

1. 題材名

D 身近な消費生活と環境 「家庭生活と消費」

2. 題材について

【題材観】

消費生活の学習は、生徒たちが無意識のうちに行っていることを意識づけさせることから始まると考える。中学生の身近な消費行動を振り返らせることにより、消費の重要性に気づき、消費者の基本的な権利と責任について理解を深めるとともに、物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができるようにさせる。

【指導観】

どのような消費生活を送りたいのか、自分が消費行動を決めることで社会を変える、より良い社会をつくるきっかけとなることに気づかせる。第 1 段階として身近なところでの問題意識を広げるために、商品やサービスを購入する際の批判的意識を持つことや、自己主張し公正な取引を得られるよう行動させる。第 2 段階として自分の消費行動が社会に及ぼす影響について関心を持たせる。また、自分が考えたことや感じたことを話し合うことで言語活動を充実させる。

【生徒観】

社会の一員として、消費者としての自覚を高める力、意思決定できる力をつけさせ、このことが社会をつくるきっかけとなることに気づかせる。また、意見交換をすることで、自分の意見を筋道を立てて伝えたり、友達の考えに批判的思考力をもって聞いたり、自分の意思決定と友達の考える視点の違いに気づいたりしてコミュニケーション能力を身につけさせる。

3. 題材の目標

- (1) 自分や家族の消費生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解する。
- (2) 物資・サービスの選択、購入について考え、これからの自分の消費行動を考える。

4. 題材の評価規準

評価の観点	評価規準
生活や技術への 関心・意欲・態度	・自分の家族の消費生活について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。 ・身近な販売方法に関心を持ち、その利点と問題点について考えようとしている。
生活を工夫し 創造する能力	・収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。

生活の技能	・物資・サービスの選択、購入及び活用について必要な情報を収集・整理することができる。
生活や技術についての知識・理解	・消費者の基本的な権利と責任、消費者基本法の趣旨について理解している。 ・中学生に関わりの深い販売方法の特徴について理解している。 ・物資・サービスの選択、購入及び活用に関する知識を身に付けている。

5. 指導・評価計画

時間	学習内容	評価規準・評価方法	関	創	技	知
1	・1日の生活を振り返り、生活に必要な物資・サービスについてまとめる。 ・生活に必要な商品の購入プロセスを意識しながら生活情報を活用して、商品を選択することができる。	◇自分や家族の消費生活に関心をもって考えようとしている。(関) 行動観察 ◇商品の購入時に必要な情報を分析しながら、買い物をするときの意思決定の流れを考えることができる。(技) 行動観察、ワークシート	○		○	
2	・購入の目的に応じた販売方法や支払い方法を選択することができる。 ・契約の意味を理解することができる。	◇消費者として目的に応じた販売方法を考えることができる。(技) 行動観察、ワークシート ◇様々な販売方法と支払い方法の特徴を理解している。(知) ワークシート			○	○
3	・消費生活のトラブルを解決する方法を考える。 ・消費生活を支える仕組みを考える。	◇消費生活の様々なトラブルに気付く。(関) 行動観察 ◇トラブルの解決方法を身につけている。(知) ワークシート ◇消費者を支える機関や法律について理解している。(知) ワークシート	○			○
4	・消費者の権利と責任について理解することができる。	◇消費者の権利と責任が、よりよい社会をつくることを理解している。(知) ワークシート ◇自分の消費生活について関心を持ち、消費の在り方を改善しようとしている。(関) 行動観察、ワークシート	○			○
5	・商品を購入するときの他者に与える影響(弱者に及ぼす影響)や、環境に及ぼす影響について調べる。 (主に責任の3・4に関連すること)	◇商品を購入するときの他者に与える影響(弱者に及ぼす影響)や、環境に及ぼす影響について、必要な情報を収集・整理することができる。(技) 行動観察、ワークシート			○	
6 本時	・自分で調べたことや他班の発表を聞いて、これからの自分や家族の消費生	◇個人の行動が社会に行動できる消費者としての力をもつことに気付い	○	○		

	活について考え、発表する。	ている。(関) 行動観察、ワークシート ◇収集・整理した情報を活用して物資・サービスの選択、購入及び活用について考え、工夫している。(創) 行動観察、ワークシート				
--	---------------	--	--	--	--	--

6. 本時の指導

(1) 内容 消費者の権利と責任

(2) 本時の目標

- ①他の班の発表を聞いて、他者に与える影響や環境に与える影響に気付く。
- ②社会を担う消費者として、商品の選択、購入及び活用についての工夫を考える。

7. 本時の評価規準

おおむね満足	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
	・個人の行動が社会に行動できる消費者としての力をもつことに気付いている。	・今までの学習内容を活用して、自分の消費生活について考え、工夫している。		

8. 本時の展開

学習過程	時配	生徒の活動	教師の指導と支援	資料・評価 (方法)
課題をつかむ	3	○本時の内容を知る。	・前時に調べたことを発表し合い、自分の消費行動について考えることが今日の学習内容であることを伝える。	
深める	20	○班ごとに発表会を始める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 一班6人で調べた資料をもとに、6ヶ所に分かれて発表会を行う。(ジグソー学習) [発表項目] *チョコレート *くつ *文房具(エコマーク) *Tシャツなどの衣類 *自転車 *ドライヤー </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 社会に責任のある消費者とは、どんな消費者だろう </div> ・発表のポイントは、 ☆商品を購入するときの他者に与える影響(弱者に及ぼす影響)、 ☆環境に及ぼす影響についてであることを確認する。 ・わかったことや印象に残ったことをプリントにメモをとりながら聞くよう促す。	・プリント(前時に調べたことをまとめたもの) ・各自の資料

<p>まとめ</p>	<p>〈予想される発表内容〉</p> <p>☆他者に与える影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途上国支援(フェアトレード) ・ユニバーサルデザイン ・児童労働 ・製造(生産)過程における健康被害(アレルギー等も) ・使用中の事故や故障 <p>☆環境に及ぼす影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リサイクル ・農薬などの化学薬品の使用 ・資源 	<p>押さえておきたい内容</p> <p>＝倫理的消費＝</p> <ul style="list-style-type: none"> ・途上国と先進国の「不平等」 ・環境問題 ・有機食品など食の安全 ・労働者の人権(児童労働) ・原料から市場までの過程の健全性 <p>・自分のお金で購入したものが社会に及ぼす影響を考えながら、日常の消費行動を行うことの大切さを意識させる。</p> <p>・6つの商品から1つ選ばせ、今日の発表内容や、今までに学習してきたことを意識しながら考えさせる。</p> <p>・班の中で意見交換をさせながら、わかりにくい部分は協力して考えさせる。</p> <p>・書画カメラでワークシートを見せながら発表させる。</p> <p>・消費者が団結し連帯する責任についての事例を紹介する。(生徒の発表で出ない場合)</p> <p>・これからの消費行動は、個人の満足感を得るためだけでなく、人と人とのつながりや地域・社会を大切にする消費行動が重視されていることを確認する。</p>	<p>・ワークシート</p> <p>◇今までの学習内容を活用して、自分の消費生活を考え、工夫している。 〈工〉(行動観察、ワークシート)</p> <p>◇個人の行動が社会に行動できる消費者としての力をもつことに気付いている。 〈関〉(行動観察、ワークシート)</p>
	<p>15 ○実際に商品を選ぶ場面で、消費者の責任としてどんなことがあるか考え、ワークシートに記入する。 (5つの責任について具体的に考える)</p> <p>○発表する。</p> <p>12 ○これからの自分の消費行動について考え、発表する。</p>	<p>社会に責任のある消費行動がわかったか</p>	